



CO₂ゼロ修学旅行 ～地球にイイネ！ 修学旅行で持続可能な社会に貢献～



プログラムスケジュール例

- 10:00～ カーボンニュートラルとは？
- 10:15～ JTBの取り組みについて
- 10:45～ ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所：株式会社JTB 神戸支店

実施時間：10:00～17:00

所要時間：約2時間

実施可能人員：～80名(2クラス)

実施費用：1,500円/人

「CO₂ゼロ修学旅行」

CO₂ゼロ修学旅行は、修学旅行中に排出するCO₂をグリーン電力の価値を購入することで実質ゼロにするものです。CO₂の排出は、国連が定めたSDGsの取り組みからもわかるように、今や世界的に大きな問題です。

「未来の子どもたちのために、少しでも美しい地球を残したい」「子どもたち自身にもSDGsへの関心を高めてほしい」そんな思いからこのプログラムは生まれました。

この取り組みの学習を通して、「温室効果ガス削減」「地球温暖化」

「カーボンニュートラル」といった地球規模の課題を、一緒に考えてみませんか？

①身近な修学旅行からJTBの取り組みを知る

JTBは、2007年よりエコツアーブランド「GreenShoes（グリーンシューズ）」や「LOVEARTH（ラバース）」などの旅行商品を中心に「CO₂ゼロ旅行」を販売してまいりました。「CO₂ゼロ旅行」には延べ17,765名が参加し、総発電量914,200 kWhの自然エネルギーを調達することで、旅行の際の移動などで排出されたCO₂を相殺しました。このカーボンオフセットの仕組みを利用して削減したCO₂量は447トンに相当します。



②ワークショップを通してカーボンニュートラルを学ぶ

2020年10月、菅義偉内閣総理大臣は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。また、海外を見渡せば2050年までのカーボンニュートラルにコミットした国と地域は、123カ国・1地域に上り、最大のCO₂排出国である中国、アメリカもCO₂削減に大きく舵を切り始めました。日本としても大きな決断をしたものの、未来への課題は山積みです。技術の進歩や産業構造の変化の中で、私たちがができることは…環境省が作成した動画『2100年 未来の天気予報』を題材に、地球温暖化対策による影響・被害の可能性についてカーボンニュートラルに関する基礎的な知識を抑えながら、日々の行動の中でできることを考えるワークショップを提供します。





学習のポイント

- ① 身近なものからSDGsを学ぶ
- ② 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国レベルの取組を学ぶ
- ③ 自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ (モデル)

